

令和5年度

中小企業によるグリーン・イノベーション構築促進事業

Green Innovation **NAGOYA**

—
グリーン・イノベーション ナゴヤ 活動報告書

主催 名古屋市



Green Innovation
NAGOYA

2023

Green Innovation **NAGOYA**

—
グリーン・イノベーション ナゴヤ

グリーン・イノベーション ナゴヤは

ものづくり産業が集結する名古屋圏において、

サプライチェーンを担う中小企業が

新たなビジネスチャンスの獲得に向けて脱炭素経営に取り組み、

企業価値の向上を目指すプロジェクトです。

目次

グリーン・イノベーション ナゴヤとは	2
実施事業及び趣旨	3
セミナー 概要 - 温室効果ガス排出削減促進セミナー	4
セミナー 概要 - カーボンニュートラルに向けた新商品開発・サービス開発促進セミナー	5
専門家派遣 概要	6
支援企業紹介 - SBT認定取得支援	7
支援企業紹介 - 新商品・サービス開発支援	9

グリーン・イノベーション ナゴヤとは

パリ協定を契機として、世界各国でカーボンニュートラルを目指す動きが加速しており、企業においてもサプライチェーン全体で脱炭素経営を行うことが求められています。

名古屋圏には、自動車産業をはじめとする世界有数のものづくり産業が集積しています。そこで名古屋市では、サプライチェーンを担う中小企業が脱炭素経営に取り組み、企業価値の向上を目指す支援を行っています。

事業概要

セミナーによる情報提供

環境対応が企業活動に求められている背景や国際的な動向、SBT認定などをテーマとしたセミナー、また、カーボンニュートラルに向けた新商品やサービス開発に係るセミナーを開催し、機運醸成を図ります。

SBT認定取得支援

国際的な脱炭素経営への枠組みに対応し、国内外の需要獲得を目指す企業に対し、専門家を派遣し、温室効果ガス排出量の算定から認定申請までをトータルで支援します。

新商品・サービス開発支援

低炭素、カーボンニュートラル、脱炭素の経営理念に基づく新商品等の開発からプロモーションまでをデザイナー等の専門家を派遣してサポートするほか、各種相談に対応します。

中小企業の取組情報等の発信

環境意識の高い国内外の企業へ向けて、支援先企業の取組や新商品等を紹介し、ビジネスマッチングにつなげるほか、セミナーや国・県・市の施策情報を提供し、市内中小企業への横展開を図ります。

事業スケジュール（令和5年度実施）



実施事業及び趣旨

1. 温室効果ガス排出削減モデル事業者の選定・指導

カーボンニュートラルをはじめとした環境対応をテーマとする中小企業向けセミナーを開催しました。また、排出削減モデル事業者に対し、サプライチェーン全体の削減目標設定への個別のコンサルテーションを実施し、SBT認定取得申請を支援しました。

セミナーの開催

- カーボンニュートラル対応への国際動向の“今”を知る
温室効果ガス排出削減促進セミナー
『SBTで企業価値向上の第一歩を踏み出そう!!』
日時 | 令和5年6月20日(火) 13:30~16:30
場所 | デザインセンタービル6階 セミナールーム3
参加者数 | 71名

SBT認定取得支援

排出削減モデル事業者を2社選定し、コンサルテーションを実施。

2. カーボンニュートラルに向けた新商品・サービス開発支援

各企業のグリーン分野でのイノベーションを促進するため、デザイン活用による環境ブランド等の構築につなげるセミナーを実施しました。また、デザインの専門家等を派遣し、支援先企業に合わせ伴走型支援を行いました。

セミナーの開催

- 中小企業の環境対応 デザインセミナー&ワークショップ
『「環境」×「デザイン」でブランド構築をめざす』
第1回デザインセミナー
日時 | 令和5年6月22日(木) 14:00~17:00
場所 | デザインセンタービル6階 セミナールーム3
参加者数 | 54名
第2回ワークショップ
日時 | 令和5年6月29日(木) 13:30~17:00
場所 | デザインセンタービル4階 ナゴヤ イノベーターズ ガラージ
参加者数 | 38名

新商品・サービス開発支援

グリーン分野でのイノベーションによる新商品開発等に意欲のある企業4社に専門家を派遣し、伴走型支援を実施。

セミナー 概要

温室効果ガス排出削減促進セミナー

脱炭素社会の実現に向けて、名古屋市内の中小企業者が、SBT認定についての理解を深め、環境問題に関心の高い大手企業や海外市場と取引を行う上での競争力を高めるきっかけになることを目的としました。

地球温暖化問題の分野で著名な講師や、昨年度に本事業の専門家派遣事業を活用してSBT認定取得支援に取り組み、申請を行なった事業者を招き、基調講演・解説講座・事例紹介の3本立てで、環境対応が企業活動に求められている背景や国際的な動向、SBT認定取得のメリット、温室効果ガス排出量の算定から取得までの流れなどを紹介しました。

カーボンニュートラル対応への国際動向の“今”を知る

温室効果ガス排出削減促進セミナー

『SBTで企業価値向上の第一歩を踏み出そう!!』

日時 | 令和5年6月20日(火) 13:30~16:30

場所 | セミナールーム3

(名古屋市中区栄3-18-1 デザインセンタービル6階)

講師 | 基調講演:土屋博義/中部経済産業局 資源エネルギー環境部 カーボンニュートラル推進室
カーボンニュートラル企画係長

解説講座 | 鈴木修一郎/株式会社ウェストボックス 代表取締役

事例紹介 | 石垣雅裕/株式会社石垣商店 代表取締役社長

参加者 | 会場参加29名、オンライン参加42名

プログラム | 1 基調講演「企業の脱炭素経営と行政機関の中小企業支援の取組」
2 解説講座「SBTの重要性やSBT認定取得のポイントとSCOPE1,2,3解説講座」
3 事例紹介「中小企業だからこそそのSBT」
4 事業説明



カーボンニュートラルに向けた新商品開発・サービス開発促進セミナー

温室効果ガス排出量の削減に役立つ商品・サービスの開発や、デザイン経営の手法に基づいた環境ブランド等の構築により、消費者や取引先企業に広く発信し、売上拡大等のイノベーション促進を目指しました。

中小企業の環境対応 デザインセミナー&ワークショップ

『「環境」×「デザイン」でブランド構築をめざす』

第1回 デザインセミナー

社会的に必要とされている環境活動を自らの価値に結びつける見える化と経営戦略についてのセミナー。デザインを活用した戦略的・魅力的なメッセージの発信や、ブランド価値を高めるための「デザイン経営」を紹介し、今後の企業活動のあり方を提案しました。また、昨年度に本事業の専門家派遣事業を活用して新商品開発を行なった事業者の事例も紹介しました。

日時 | 令和5年6月22日(木) 14:00~17:00

場所 | セミナールーム3

(名古屋市中区栄3-18-1 デザインセンタービル6階)

講師 | 第1部:鈴木修一郎/株式会社ウェストボックス 代表取締役

第2部:杉野実/M1_Project デザインプロデューサー

第3部:吉住竜志/トキワランバテック株式会社 代表取締役社長

参加者 | 会場参加26名、オンライン参加28名

プログラム | 1 『SBT、カーボンニュートラル・脱炭素・環境に対する企業対応の社会的な流れ』
切っても切れない企業の環境対応~環境対応の見える化
2 『環境メッセージを高めるデザイン力UP』
環境に特化したデザインの活用事例紹介
3 事業紹介「アップサイクルウッドを活用したキャンプ用品の開発」
4 事業説明



第2回 ワークショップ

企画立案ワークによる体験型セミナー。環境対応を踏まえた自社の高付加価値化のための新商品・サービスやブランド構築を目指しました。課題企業「株式会社江口蔵商店」の商材である、古紙を原料とするバイオエタノール「ペーパーエタノール®」による新たな商品開発・PR展開を3チームそれぞれが提案しました。

日時 | 令和5年6月29日(木) 13:30~17:00

場所 | ナゴヤ イノベーターズ ガレージ

(名古屋市中区栄3-18-1 デザインセンタービル4階)

講師 | 杉野実/M1_Project デザインプロデューサー

参加者 | 会場参加30名、オンライン参加8名

プログラム | 1 ミニレクチャー「デザイン経営とデザイン思考」/オリエンテーション
2 課題企業の紹介等プレゼンテーション
3 ワークショップ「ペーパーエタノール®」で飛行機を飛ばしたい
4 プレゼンテーション / 意見交換会



専門家派遣 概要

SBT専門家派遣

名古屋市内の中小企業者を対象に、温室効果ガス排出削減モデル事業者のSBT認定取得支援を行いました。支援企業に当地域唯一の専門カーボン・オフセットプロバイダー株式会社ウェストボックスより専門家を派遣し、温室効果ガス排出量の算定から認定申請までをトータルで支援しました。

支援内容 | CO₂排出量の算定及び目標設定の指導
SBT認定取得のための申請手続きの支援

支援期間 | 令和5年10月上旬～令和6年2月下旬

支援企業数 | 2社

企業名	業種 / 主要取扱品目	派遣専門家
株式会社トーカイエコボード	製造業 / エコボード、エコボードパレット及び段ボールの集合包装	株式会社ウェストボックス パートナー支援事業部 小川智之 / 相川拓哉
株式会社ノダキ	卸売業 / 機械工具、金型・治具、測定工具、工場副資材	株式会社ウェストボックス パートナー支援事業部 大槻眞裕 / 上尾真理

デザイン専門家派遣

名古屋市内の中小企業者を対象に、グリーン分野でのイノベーションを促進するため、デザイン等の専門家を派遣して指導を行いました。

支援内容 | 新商品・サービス開発（既存商品の改良を含む）からプロモーションまでの
デザイン指導やエコデザイン等を活用した商品開発指導
専門家による各種個別相談対応

支援期間 | 令和5年9月下旬～令和6年2月下旬

支援企業数 | 4社

企業名	業種 / 主要取扱品目	派遣専門家
株式会社アイワ工芸	製造業 / 看板制作、展示会会場・イベントブース設営	杉野実 / デザインプロデューサー
有限会社柏彌紙店	卸売業 / 襖紙・障子紙など 和紙、内装材料全般	奥山泰助 / クリエイティブディレクター
株式会社ファースト	製造業 / サイン・ディスプレイ用品、 デジタルサイネージ	中尾協平 / チーフデザイナー
有限会社みずのかぐ	小売業 / オリジナルオーダー家具の 企画・製造・販売	松永裕詳 / ディレクター

株式会社トーカイエコボード [製造業 (パルプ・紙)]

所在地 | 〒463-0808 名古屋市守山区花咲台二丁目907番地
TEL | 052-739-3777 FAX | 052-739-3775

WEB | <https://www.tokai-ecoboard.co.jp>



今も、これからも、持続可能な 循環型社会に貢献し続ける企業です

株式会社トーカイエコボードは、約30年前から環境問題を見つめ、循環型社会実現に向けて技術開発を行い『エコボード』という素材を生み出しました。量産化に成功し、以降約20年余り、物流関連会社をはじめ各種製造業の方々の問題解決の一助となればとの熱い想いで、日々活用推進に努め続けています。創業の精神の一つ「公正不偏の精神」で、エコボードおよびエコボード関連製品の製造・加工・販売を通じ、環境配慮企業として貢献しています。



取組内容

100%リサイクル可能な製品の CO₂排出量の見える化で低炭素社会に貢献

近年、環境に対して、カーボンニュートラルといった考え方が加わり、環境配慮への取るべき行動も変化してきていると感じています。100%リサイクル可能な製品を販売する当社としても、この流れに合わせ環境配慮への取り組みを加速させ、低炭素社会の実現に貢献し、企業ブランディングにつなげていきたいと思い、参加しました。SBT 認定取得には、CO₂排出量の見える化が必須であることは、事前に調べて認識していたものの、本事業で実際に行ってみると、経理データや販売データと密接にリンクしていることに驚くとともに、日頃からのデータ収集のあり方についても検討していく必要があることを実感しました。また、SBT 認定取得の際、英語での申請についても専門家からのアドバイスにより行うことができ、安心して取り組むことができました。

本事業を終えて

自社のCO₂排出量の見える化により、 一つの指標を創り出した

環境に優しい企業として謳ってきた当社にとって、カーボンニュートラルに向けた取り組みを見える化し、まず一步を踏み出すことは大きな課題の一つでした。今回、本事業に取り組んだことで自社のCO₂排出量の見える化により、一つの指標を創り出せたと感じています。今後は、排出量の削減に努めながら、省エネと再エネをうまく組み合わせ、一歩ずつ進んでいきたいと思っています。また、当社は、取引先企業の多くが他業種で製造元であることから、本事業の成果をしっかりと情報開示し、自社の信頼につながるようPRにも力を入れていきたいと考えています。

株式会社ノダキ [卸売業]

所在地 | 〒451-0045 名古屋市西区名駅三丁目10番地26号
TEL | 052-561-4371 FAX | 052-561-4379

WEB | <https://nodaki.jp>



創業以来110余年の 機械工具の専門商社

株式会社ノダキは、1907年に創業した機械工具の専門商社です。110余年にわたり、世界中で活躍している多くのメーカーの成長に貢献してきました。各社の創業時代から共に歩み、困難に直面した時も、歓喜の声を上げた時も、さまざまなオーダーに応えてきました。だからこそ、各社の特性やルール、今まで積み上げてきたノウハウや改善に至る経緯なども全て理解した上で提案を行っています。ノダキの歴史は「挑戦の歴史」です。時代に合わせ変化してきたからこそ、今のノダキがあります。次の100年へ。培ってきた挑戦の想いを受け継ぎ、歩み続ける企業です。



取組内容

カーボンニュートラルに向けた 情報開示への取り組み

当社は、愛知を中心とするものづくり企業を支え、共に成長してきました。近年、社会的な影響を背景に取引先企業のカーボンニュートラルへの取り組みが進んでいます。当社としても、カーボンニュートラルに向けた情報開示に取り組み、成長を支えられる企業として取引先企業とともに成長するため、参加しました。温室効果ガスの算定においては、当社ではISO14001の取得以降、国内拠点ではデータの一元管理を行っており、活動量の把握は意外と手早く行うことができました。しかし、海外拠点では現地の考え方で管理していたため、把握に苦勞する場面もあり、国際認証の意味を痛感しました。今後は、この取り組みを通じて、取引先企業と歩調を合わせ、カーボンニュートラルに取り組み、より良いものづくりをサポートできる企業に成長していきたいと考えています。

本事業を終えて

カーボンニュートラルの実現を サポートする製品や サービスを提案していく

当社の温室効果ガス削減への取り組みは、製造業とは異なり、低炭素社会への貢献度としてはそれほど高くないと思います。しかしながら、製造業の方々と同じ目線で向き合い、考え方を共有することで、取引先企業が本当に必要とするものを自分たちで考え供給できるのではないかと考えています。今後は、製品やサービスに関する温室効果ガスの情報開示のみならず、取引先企業が求める機会に即時対応するため、当社の取扱製品や技術領域を拡大させ、取引先企業のカーボンニュートラルの実現をサポートする製品やサービスを提案していきます。

株式会社アイワ工芸 [製造業(その他製品)]

所在地 | 〒453-0845 名古屋市中村区宮塚町183番地

WEB | <https://www.sign-aiwa.com/>

TEL | 052-411-6035 FAX | 052-412-1617



よい看板をつけるとよい客が来る

株式会社アイワ工芸は、1968年創業の歴史ある看板製作会社で、屋内・屋外の看板製作の他に、展示会での会場・イベントブース設営、木工製作、イベント看板なども手がけています。長年のノウハウを活かした戦略的な看板&外観リノベーションによって、クライアントの売上アップにつながる看板作りを強みとしています。クライアントごとに商圈分析や実地調査を徹底的に行い、顧客の行動プロセスを分析し、段階ごとにふさわしい「情報」を看板に込め、店舗誘導効果を高めます。単なる表札としての看板ではなく、営業マン以上の働きをする戦略的看板の提案が目標です。



取組内容

環境配慮プログラムを新たな強みへ 再生材を用いた商品・サービスの開発

当社はこれまでに『従来の看板屋を超えた看板製作』をキーワードに、当社の強みである手書き職人の技を生かした「外観リノベーション」での新たな開発に取り組んできました。開発を進める中で、近年、環境配慮やSDGsといった社会貢献を意識した顧客が増加していると感じ、新たな切り口の商品開発に取り組むたいと思い応募しました。本事業では、これまで行ってきた看板製作作業の工程を洗い出し、環境配慮につながる要素を見つけ出す作業から始め、リユースにつながる素材、廃棄量やエネルギー削減などについて検討し、ひとつのビジネスモデルを構築しました。特に、塩ビ板等のリユース素材については、メーカーの情報からCO₂排出量をピックアップするなどし、環境負荷低減への効果をまとめ、環境配慮プログラムとして新たな強みを持つ商品開発を行うことができました。

本事業を終えて

自分たちにとって当たり前の作業にこそ、 CO₂排出削減につながる要素が あったことに気付かされた

当社は50年以上に渡り、看板作りのノウハウを積み上げてきました。今回、外部専門家の新たな視点での製作作業工程の見直しにより、そのノウハウには、自分たちにとって当たり前の作業にこそ、CO₂排出削減につながる要素があったことに気付かされました。また、看板の洗浄やシート剥がし等、手間のかかる工程が、実は「環境配慮」や「低炭素社会への貢献」という意味のある工程であったことを見い出せ、新たなやりがいや当社の強みを打ち出すことにつながり、励みとなりました。今後は、このような価値を効果的に活用いただけるよう商品PRを行い、当社のみならず、クライアントのSDGs活動にも貢献できる戦略的な看板製作を提案し続ける企業でありたいと考えています。

有限会社柏彌紙店 [卸売業]

所在地 | 〒460-0016 名古屋市中区橋一丁目4番地6号 WEB | <https://kashiwaya.co.jp>
TEL | 052-331-8681 FAX | 052-331-8891



和を通して、日々の生活に彩りを

有限会社柏彌紙店は、1824年より続く歴史と経験から、和紙を中心とする内装材料を使い、日々の生活の中で豊かさを感じ、彩りある空間作りをします。日本の住空間において、和紙にできることはとてつもなく多いと考えます。和紙は時代を超え、何度でも甦り、経年変化すら風合いに変えます。日本古来のこのすばらしい素材を武器に、お客様の抱える課題を解決します。1300年の歴史を持つ和紙文化を、この時代で途絶えさせないように、この先も広がり、続いていくことを願って、発信していきます。



取組内容

独自のネットワークでリユース素材を安定供給 SDGsにつなげる和紙着火剤の開発

製造過程でエネルギー消費の低い手漉き和紙は、低炭素社会にフィットする素材でありながら、原料のコウゾを栽培する農家や表具師等の高齢化という現状を踏まえると、その素材自体や活用方法の先行きが懸念されます。そこで、若い世代にその魅力を伝え、生活に取り入れてもらうきっかけをさまざまな場面で作り、活性化を図る必要があると感じ、新たな方法で商品開発ができないものかと思い参加しました。本事業では、当社の強みである表具師などの和紙加工を専門とする職人のネットワークを活用し、リユース素材の安定した供給ラインの形成からはじめました。趣味趣向の強いニッチニーズに向けた障子紙や襖紙といった和紙の端材を再利用した着火剤の商品開発を行うことで、特化した層へのブランド訴求を意識した開発につなげることができました。また、PRはSNS等のデジタルメディアを軸に、若年層との接点の創出を目指しました。

本事業を終えて

それぞれの立場で事業を継続できる 仕組みづくりをプロデュースする 牽引企業としての重要性和意義を感じた

これまでに当社は、和紙という素材を生産農家から加工を行う職人、住宅メーカーへとつなぎ、顧客の難しい困りごとにも対応できるよう日々研鑽を積んできました。しかしながら、和紙に対する需要は減退の一途を辿っています。そういった課題を踏まえ、本事業を通じサーキュラーエコノミーにつながる新たな取り組みを行うことで、一卸売としてだけでなく、当地域の和紙生産者や表具師などの職人がしっかりと後継者を育成できるよう、業界全体を俯瞰し、それぞれの立場で事業を継続できる仕組みづくりをプロデュースする牽引企業として、自社事業の重要性和意義を感じました。その上で、和紙は消費者へ環境負荷の少ない素材であることをしっかりアピールし、低炭素社会の生活にマッチした道具を開発することで需要を喚起し、和の文化を次世代へ繋げていきたいと考えています。

株式会社ファースト [製造業(その他製品)]

所在地 | 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目815番地 WEB | <http://www.first-sp.com>
TEL | 052-803-6131 FAX | 052-802-7131



デザインのいい街で暮らしたい

暮らしに、産業に、サイン・ディスプレイは、街中でさまざまな役割を担っています。株式会社ファーストは、サイン・ディスプレイ・デジタルサイネージを活用し、人々の生活にゆとりや潤いを与え、「デザインのいい街づくり」に貢献するメーカーとして、多品種・小ロットによる商品ラインナップでお客様の多様なニーズに対応するとともに、過剰在庫・供給を避け、無駄の削減に努めた独自の仕組みで生産しています。また、ライフスタイルが多様化する現在、高品質・洗練されたデザインによる商品開発を推進するだけでなく、環境負荷低減活動を通じ、社会課題の解決にもつながるものづくりで、街に便利で豊かな製品を増やしていきたいと考えています。



取組内容

石油由来の部材から自然由来の部材へ 新素材を活用したディスプレイ商品の開発

当社は、これまで多品種・小ロットなものづくりで多様な顧客ニーズに対応してきました。しかし、社会の変化により、より多様な顧客ニーズに応えることが必要になってきていると感じています。そのため、当社としても新しい取り組みにつなげるきっかけとして本事業に参加しました。本事業では、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーについて見識を深めつつ、これまで培った当社の強みを活かしながら、石油由来の部材から自然由来の部材への切り替えや新素材の活用について、プロトタイピング手法による検討を行いました。しかしリサイクル素材や自然素材を活用したサイン・ディスプレイの開発は、商品として視認性を満たす事ができず、商品化を見据える上での難しさを改めて感じました。

本事業を終えて

商品コンセプトと商品の持つ仕組み、 商品そのものの視認性を合致させることの 重要性を痛感

当社は、サイン・ディスプレイやデジタルサイネージ分野において、生産効率と視認性を重視した商品開発で企業価値を高めてきた企業です。これまでにさまざまなデザイン性のある商品開発に挑戦してきましたが、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミー、SDGsといった環境への取り組みを推進するための商品開発は、従来の考え方では、商品化が難しいと感じました。中でも、本事業で行ったプロトタイピングを通じ、商品コンセプトと商品の持つ仕組み、商品そのものの視認性を合致させることの重要性を痛感しました。難しいテーマではありますが、今後も継続的に商品開発に取り組み、低炭素社会の実現につながるものづくりで、顧客ニーズにマッチする豊かな製品を提供していきたいと考えています。

有限会社みずのかぐ [小売業]

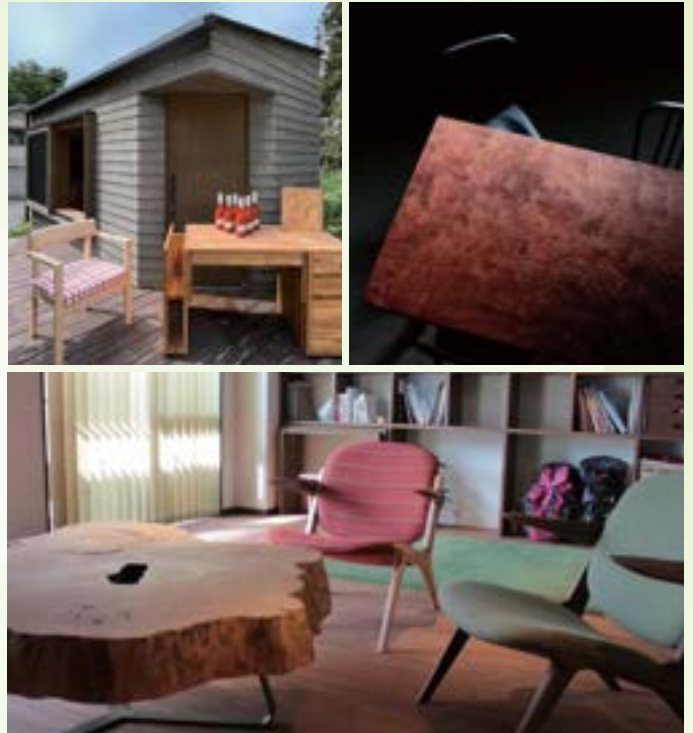
所在地 | 〒463-0067 名古屋市守山区守山一丁目1番地18号
TEL | 052-795-1101 FAX | 052-795-1102

WEB | <http://www.mizuno-kagu.jp>



家具で人を、シアワセにする。

有限会社みずのかぐは、「人と人がつながる場所」をコンセプトに、オリジナルのオーダー家具をご提案するショールーム・ショップ「CONNECT(コネクト)」を運営するとともに、北欧デザインの輸入家具ブランドや、プロの収納技術によるオリジナル別注造作家具など、さまざまなブランドを展開しています。また、デスクに使用される杉材が育った上流の山を親子で体験するツアー付きデスクの販売を通じて「上流の山」と「下流の街」の人と人をつなぐプロジェクトを行っており、木材の需要喚起にも努めています。



取組内容

低炭素化社会の実現をテーマに製造した、木製キャンピングトレーラーのPRツールの開発

生活環境が変化し、家具へのニーズも大きく激しく変化する中、低炭素化社会の実現という社会課題をテーマに、木製のキャンピングトレーラーを製造するといった、家具の領域を飛び越えたプロジェクトに取り組むため、本事業に参加しました。家具しか販売したことのない当社にとって、どこから手を付けるか悩みながら、専門家との打ち合わせをスタートしました。本事業では、商品自体のPRや木のカーボンニュートラルに適した素材といった機能性のみに着目するのではなく、生活シーンの中から「こんなことに使えないか」「こんな生活が楽しいのではないか」といった暮らしについて考えるところから始め、専門家のアドバイスのもと、媒体を選別し、山や海などとの自然とのふれあいや木のぬくもりが伝わるようなニッチニーズを満たすSNS向けの動画の制作を行いました。

本事業を終えて

資源を大切にしたものづくりを行いながら、地域の自然保護や環境配慮に貢献していきたい

今や家具の販売も、店舗だけではなく、インターネット通販など、新しい形態に変化しています。そういった中で、PRの仕方も様々な変化をしており、SNSや動画など新しい媒体に合わせ、私たちも対応していかななくてはなりません。開発商品に対し、仕様や機能といった考え方だけでなく、ユーザーエクスペリエンスとそれを表現する効果的な見せ方の知識など、ユーザー層へのアプローチの仕方について、改めて勉強し直す機会となりました。今後は、開発商品の販売を通じ、山の大切さ、木のぬくもりの良さを伝えながらプロジェクトの目的である「上流の山」と「下流の街」の人と人をつなぐことを広げるとともに、資源を大切にしたものづくりを行い、地域の自然保護や環境配慮に貢献していきたいと考えています。

グリーン・イノベーション ナゴヤでは
中小企業等の情報や事業に関する情報発信を行っています。

WEBサイト <https://gi-nagoya.net/>

事業に関する情報や参加企業の
情報等を掲載しています。



Facebook

事業に関する情報やカーボンニュートラルに関する
施策情報等を発信しています。



編集 | 株式会社国際デザインセンター 事業部

デザイン | 株式会社スズキモダン

グリーン・イノベーション ナゴヤ 事務局・企画・運営

株式会社国際デザインセンター 事業部

所在地 | 〒460-0008

名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパーク・デザインセンタービル

TEL | 052-265-2104

FAX | 052-265-2107

WEB | <https://www.idcn.jp>



名古屋市

発行日：令和6年2月 / 発行元：名古屋市